

第1回JET地域国際化塾の開催

(1)JETプログラムの課題

- 近年は約4,000人／年が日本各地の自治体で活躍:うち、ALT(外国語指導助手)が9割、CIR(国際交流員)が1割弱
- 実際の活動は、学校内の英語指導や自治体の国際化事務に限定されている例が多い
 - JET青年と地域社会との関わりをバックアップする必要

(2)事業の目的

- JET青年と自治体・地域おこし関係者との出会いと交流の場である「JET地域国際化塾」を開催
 - ➡ JET青年:赴任地の国際化に一層貢献 + より強い「日本のサポーター」へ
 - 自治体・地域おこし関係者:JET青年を通じて、グローバルな視点を持った地域活性化を学ぶ

(3)事業の概要

- H27年度:平成27年10月7日(水)～10月9日(金)石川県で開催
- 参加予定者:約80名
 - ・JETプログラム参加者(開催県中心、他ブロックの代表・JET-OBも参加)
 - ・自治体・地域おこし関係者 等

【実施内容】

- JET青年と地域おこし関係者とのワークショップ
(ベストプラクティスや日本の地域おこしの手法の共有)
- 具体的な事例の視察・体験
地域コミュニティを支援する活動に取り組むNPO法人
伝統を引継ぎつつ、時代に合わせた売りこみを行う酒蔵
伝統工芸である輪島塗の工房



参加したJET青年は、赴任地の地域国際化活動に積極的に参画
(全国のJET参加者ネットワークでも成果を共有)

